

Café&Dining A-U-N

業種	宿泊・飲食サービス業	事業所所在地	千葉県流山市	資本金	
				従業員数	4名

	被承継者（左）			
	山崎 礼子	70歳	※承継時	
	承継者（右）			
	山崎 和希	43歳	※承継時	
事業承継を行った時期		被承継者と承継者の関係		
2019年8月		子ども		
承継前の主たる事業の内容		承継前の主たる事業の課題		
住宅街の中にある小さなダイニングバー（夜のみの営業）		・既存商品・サービスの売上高の拡大	1. 閑静な住宅地にある現在の場所では収益が厳しい。 2. 現店舗は席数が少ないため、要望はあるも団体客の受け入れが難しい。	

事業承継を実行するまで		
きっかけは？	承継計画の立案	承継までの不安と準備
承継実行の 2 年前	被承継者と承継者で話し合ったこと	被承継者の承継に対する不安
1. 現事業主である母の高齢化 長年、2店舗を経営してきた母の体力を考えると1店舗に絞るべきと考えた。	これまでの形態をどう踏襲していくのか、今後どのような形がかかわっていくのか等。	承継者の経営力、特に雇用主としての自覚があるのか。
2. 地元愛と江戸川台の再興 生まれた時から現在まで地元・江戸川台で多くの月日を過ごしてきたことから、幼き頃に活気のあった江戸川台をもう一度取り戻したいとの想い。	関係者との調整	承継者の承継に対する不安
	特になし。	承継前のお客様が離れて行ってしまうのではという不安。

これに一番苦労した！

実際に親子だけでの話し合いでは感情的になってしまい、伝えたいことがうまく伝わらないことを痛感した。そのような中、様々な問題があるたびにサポートしてくれた支援機関である流山商工会議所の岡田さんには大変感謝しております。また、空き店舗の内装工事では、トラブルなどで計画が遅れてしまいOPENが年末になってしまった。

事業承継について相談したこと	
相談した機関の業種	承継に関して受けたサポート内容
商工会・商工会議所	事業承継補助金の資料作成や改装含む創業の資金計画、承継計画の相談など、多岐にわたり相談に乗ってもらった中で、特に印象に残っているのは、「承継」というものは「単なる資産の承継ではない」ということを教えていただいたことです。
いつから相談？	
承継実行の 2 年前	
相談のきっかけ	
以前から取引や付き合いがあった	

経営革新等に係る取組の標題

地域ニーズに応える健康を意識したダイニングカフェの経営

経営革新等に係る取組の内容	新商品の開発又は生産
---------------	------------

- 被承継者（母）は、長年2店舗（スナックと居酒屋）を経営してきたが体力に陰りが見え始めたことから、経営を1店舗（スナック）に絞ることを検討していた。そこで、雇用される立場ではあったが、居酒屋の店舗を仕切ってきた自身の経験を生かして承継者が引き継ぐことを決意した。
- 閉店する既存店が住宅街にあったこともあり、本補助金をきっかけに駅前の商店街へ進出する計画を立て、長年空いていた商店街の空き店舗を活用することで地域の課題解決にも貢献できた。
- また、高齢者の割合が高い地域であるため酵素などをテーマにした健康食（酵素玄米、低温調理、各種スムージー等）を取り入れ、旧店舗の2倍となる40席を用意した新店舗では団体客の利用獲得も進めていく。



地域経済やバリューチェーンへの貢献	補助対象経費の内訳		
地元出身の経営者として、地元愛の伝播や地産地消の促進に寄与していき、今後も愛する江戸川台の地域活性化に貢献して参りたい。	<table border="1"> <tr> <th>経費の主な使い道</th> </tr> <tr> <td>設備費（内装工事費）</td> </tr> </table>	経費の主な使い道	設備費（内装工事費）
経費の主な使い道			
設備費（内装工事費）			

認定経営革新等支援機関の名称：流山商工会議所

認定経営革新等支援機関から受けたサポート内容

<input checked="" type="checkbox"/> 制度内容の理解	<input checked="" type="checkbox"/> 事業計画の立案	<input checked="" type="checkbox"/> 各種提出書類の作成	<input checked="" type="checkbox"/> 補助事業の実施
---	---	---	---

制度の提案から創業計画のブラッシュアップ、会計から雇用まで様々なサポートをしていただきました。

今後に向けて～次の目標

2019年から2022年に向けて	・現場を任せられる従業員の育成 ・2店舗目の開店 ・働き手に長く続けてもらえるよう福利厚生充実
売上高 200 %UP	

これから事業承継に取り組む事業者の方へ

被承継者からの一言コメント	承継者からの一言コメント
どうしても、親子だと純粋な事業承継の話し合いではなく、感情的になってしまう場合もあります。第三者を交えることで冷静に話し合いができることもあるので、商工会議所などを活用しながら頑張ってください。	今回の件を通して、これまでどこか甘えていた部分があったことを実感しました。また、信頼・相談できる方がいることの大切さをあらためて感じるとともに、商工会議所の職員さんには大変お世話になりました。一人で抱え込むのではなく、商工会議所などの然るべきところに相談することの重要性を感じました。